

# Governor's Monthly Communication

Vol. 3  
2014.9.1

## Content

- 表紙・2…「出席して、ロータリーについて語り、奉仕の実践に繋ぐ」委員会
- 2……………2014 - 2015 年度  
第1回全国青少年交換委員長会議の報告
- 4……………ガバナー公式訪問だより
- 9……………会長エレクト研修セミナー (PETS) 報告
- 12……………文庫通信



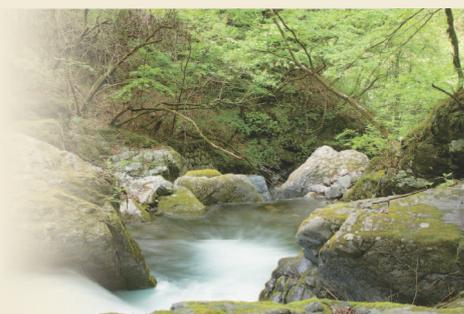
2014 - 2015 年度  
国際ロータリー会長  
**ゲイリー C.K. ホアン** (黄其光)  
国際ロータリー第 2690 地区 (鳥取・島根・岡山)  
2014 - 2015 年度 ガバナー **松本 祐二**  
(地区スローガン) 「笑顔でSERVICE」



## 「出席して、ロータリーについて語り、奉仕の実践に繋ぐ」委員会

国際ロータリー 第2690地区  
2014-2015年度 ガバナー

**松本 祐二** (Yuji Matsumoto)



2014-15年度の地区目標の第1に出席率の年間平均90%を掲げました。ロータリークラブは例会を開催し、そこでの親睦があり例会を通じてのSERVICE (奉仕) 活動が存在します。このため先ず出席しないことには親睦も産まれません。出席していても食事をしているだけで、会長の話も各種の委員会報告も十分に理解できない新人の時には特に辛い思いをされていたことはなかったでしょうか? ロータリーのシステムが理解できないままに欠席が多くなる場合もありますので、新入会員にはきめ細やかな情報提供が必要です。例会出席が途切れ始めるとやがて休眠会員になり退会へとつながってゆきます。

もう一度、例会への出席要件について確認してみましょう。例会への出席はその例会時間の少なくとも60%に出席すること。(1時間の例会なら例会開始の点鐘から36分は例会場に出席してはなりません。) ただし会合出席中に不意にその場を去らなければならなくなった場合、そ

の後のその行為が妥当であるとクラブ理事会が認める理由を提示するか、または、欠席をメイクアップしなければならない。とされています。(Eクラブの出席規定やメイクアップについては今回省略します。) 早期の退出が認められていませんし、逆に遅刻しても後半を中心とした36分以上に出席されていれば出席となりますが、遅刻を推奨しているわけではありません。

メイクアップ (Make-up) について再確認です。例会の前後14日間。例会の定例の時の前14日間または後14日以内に、他のクラブまたは仮クラブの例会の少なくとも60%に出席すること。またはローターアクトクラブ、インターアクトクラブ、ロータリー地域社会共同体、ロータリー親睦活動に出席してもよいことになっています。また、他のクラブ例会の定例会場に定刻に赴いた時にはそのクラブが例会の時間や場所を変更していた時には出席扱いになることも知っておくと便利です。

クラブの理事会の会合や理事会が承認し選任された奉仕委員会の会合に出席することもメイクアップの一つですので、クラブ理事会で弾力的に運用されることを期待しています。あなたのクラブには「出席して、ロータリーについて語り、奉仕の実践に繋ぐ」委員会は存在していませんか？

#### 手続き要覧には

##### 出席 (Attendance)

クラブ例会への定期的な出席、およびクラブの奉仕プロジェクト、行事、活動への積極的な参加は、クラブとロータリーに対する会員の献身を示すものである。出席の要件は

標準ロータリークラブ定款に規定されている(標準クラブ定款第9条および第12条4節)。

クラブのリーダーは、例会への出席、ならびにクラブの奉仕プロジェクト、その他の行事、活動への参加を会員に奨励する(ロータリー章典7.060.)

例会の欠席は、標準ロータリークラブ定款に記載されたさまざまな方法でメイクアップできる(標準クラブ定款第9条)

ロータリーEクラブへの出席もメイクアップになりますのでご検討ください。

## 2014-2015年度 第1回全国青少年交換委員長会議の報告



9月は「新世代のための月間」です。

2014-2015年度  
青少年交換委員長

**吾郷 浩之**  
(Hiroyuki Ago)



R I J Y E C (特定非営利活動法人 国際ロータリー日本青少年交換委員会: Rotary International Japan Youth Exchange Committee) が主催されました第1回全国青少年交換委員長会議が新年度早々の7月6日(日)に開催され、出席いたしました。

会議内容は、第一部で『地区委員長のためのオリエンテーション』、第二部で『全国地区青少年交換委員長会議』の大きく2本立てで行われました。

「R I J Y E C」という組織は皆様が耳慣れないものだと思いますので、その設立経緯と役割について少し説明したいと思います。

青少年交換プログラムは、基本的にはクラブ対クラブのプログラムですが、現実的には地区対地区とのプログラムとして世界的に展開されています。また、国を超えるプログラムであるため、日本の34地区が共通に抱える課題も多く、地区独自で対応できない、あるいは解決できない問題も存在します。そのため、外務省・法務省との対応のためや、国際ロータリーとの対応のために、各地区青少年交換委員会のとりまとめ役および相談役として設立されました。

まず、青少年交換プログラムで各地区が抱えている問

題点の改善およびプログラムの更なる発展を期すことを目的とし、2000年7月1日、ガバナー会の中の小委員会として、ガバナー会青少年交換委員会(JYEC, Japan Youth Exchange Committee) が立ち上げられました。

その後、国際ロータリー理事会は、青少年交換プログラムにおける虐待およびハラスメント防止のために、各地区に危機管理への対応を義務づけました。危機管理への対応が適切に取られている地区へは証明書を出し、証明書を貰った地区でなければ、2006-07年度以降、青少年交換プログラムへの参加はできないとの方針を決定。また同時に米國務省は、交流団体などが性的虐待の報告を怠るような事例が起きた場合、その若者が参加していた交換留学プログラムを停止すると警告。ガバナー会青少年交換委員会はこれに呼応し、2005年に下部組織として全国青少年交換委員長経験者などからなるR I 指針検討委員会を立上げ対応をしました。

地区が危機管理へ対応していることの諸条件の中で、クリアしなければならぬ一番困難な条件が、「地区もしくは地区青少年交換委員会の法人化」でありました。日本においては、各地区や各地区青少年交換委員会が法人化する

事はたいへん困難であることから、当時のガバナー会は、日本34地区が合同で国際ロータリー日本青少年交換委員会を設立し、この委員会を法人化することとしました。

(JYEC およびRIJYEC の歴史 文責：関場慶博 氏 (弘前RC 現：弘前アップルRC)、神田憲 氏 (名古屋大須RC) から抜粋)

それでは会議内容の報告をいたします。

この会議には全国から46人の委員長及び副委員長や交換委員会の関係者とRIJYEC関係者30人が参加して行われました。

第一部では、理事長のご挨拶に始まり、RIJYECの設立経緯と意義やRIJYECのWEBサイトの紹介と青少年交換委員会のために作成し、配布されたCDロムの紹介と内容や使用方法について説明を受けました。当地区において、この青少年交換委員会の委員長や事務局が毎年交代し、年度始めがまさに「いち」からのスタートであり、重要項目の引継や各ステップのマニュアル化が問題視されています。

その中において、昨年度から配布されたこのCDは、今年さらにはバージョンアップされたとのことで、その内容や使い方には非常に心強いものを感じました。

昼食を挟みながらの第二部では、各地区委員長の自己紹介と現状や問題点について発表されました。私は、当地区の現状については、昨年度及び今年度の派遣・受入学生の数と交換国を、課題については前述した課題と派遣学生の募集に苦勞すること、これは告知不足であり、ロータリアン自身も興味薄いことと、今年度初めて関係高校に募集案内を送付したこと等を発表いたしました。

その後、青少年交換プログラムに必要な諸手続きについて、提出しなければならない文書と部数、送付先等の説明を受けました。

次に「RIからの再認定とマルチ地区について」方針の説明と意見交換を行いました。RIの青少年交換委員会は2012-13年度に日本のロータリー地区が青少年交換参加資

格の再認定手続きの対象と決議しました。この主な理由としては「虐待とハラスメント防止に関する地区の方針」の中で、青少年委員会に関わる関係者の身元調査と犯罪履歴調査を行うことが不足しているとのことです。日本においてこのような調査を実施することが困難であるとの認識を一時RIでは理解していながら再び認めないと言い出しているのです。これは非常に難問題だと感じています。

また、「マルチ地区(多地区合同奉仕活動)」はRIとの窓口業務や34全地区に関わる問題の調整・処理を一元化して対応し、地区の業務負担の軽減化を目指すものです。この二つについては非常に重要な項目で多くの時間を費やし、意見交換がなされました。

続いて、これも重要なことですが、派遣学生用の保険がRIJYEC提案の統一旅行保険へ加入することが義務付けられました。昨年加入が義務付けられた国民健康保険と合わせて2階立てでRI章典に対応した保険内容になっています。

最後に、危機管理のケーススタディーとして2つの地区から事例が報告されました。改めて危機管理及び危機管理委員会の重要性を感じた次第です。特に当地区との交換相手国のアメリカはこの問題には非常に敏感であり、軽微な問題であっても重要な問題と認識されるケースも懸念され、慎重に対応するべきとの認識を持ちました。

年度の当初から、懸念される問題点を突きつけられ、右も左も手探り状態の私にとって厳しい会議内容となりましたが、まずは問題が起きないように、又、起こったときは速やかにかつ適正に処理できるよう細心の注意を払いながら委員会を運営したいと考えております。

ロータリアン諸兄のご指導・ご鞭撻と青少年交換プログラムのご理解・ご協力を切にお願いいたしまして会議の報告といたします。





## 牛窓ロータリークラブ



2014年 7月7日(月)

会場 永楽会館

## 津山ロータリークラブ



2014年 7月4日(金)

会場 津山国際ホテル

## 倉吉ロータリークラブ



2014年 7月8日(火)

会場 倉吉信用金庫 うつぶきホール

## 岡山旭川ロータリークラブ



2014年 7月9日(水)

会場 アークホテル岡山

## 米子ロータリークラブ



2014年 7月11日(金)

会場 米子全日空ホテル

## 松江東ロータリークラブ



2014年 7月10日(木)

会場 ホテル一畑

## 出雲南ロータリークラブ



2014年 7月11日(金)

会場 出雲ロイヤルホテル

## 岡山北西ロータリークラブ



2014年 7月14日(月)

会場 ホテルグランヴィア岡山

## 児島東ロータリークラブ



2014年 7月15日(火)

会場 鷺羽ハイランドホテル

## 岡山南ロータリークラブ



2014年 7月15日(火)

会場 岡山全日空ホテル

## 岡山ロータリークラブ



2014年 7月16日(水)

会場 ホテルグランヴィア岡山

## 津山西ロータリークラブ



2014年 7月16日(水)

会場 津山国際ホテル

## 倉敷南ロータリークラブ



2014年 7月18日(金)

会場 ヘルスピア倉敷

## 倉敷ロータリークラブ



2014年 7月17日(木)

会場 倉敷国際ホテル

## 赤磐ロータリークラブ



2014年 7月22日(火)

会場 赤坂レイクサイドカントリークラブ

## 児島ロータリークラブ



2014年 7月22日(火)

会場 セとうち児島ホテル

## 岡山備南ロータリークラブ



2014年 7月23日(水)

会場 メルパルク岡山

## 玉島ロータリークラブ



2014年 7月23日(水)

会場 国民宿舎 良寛荘

## 岡山東ロータリークラブ



2014年 7月24日(木)

会場 岡山プラザホテル

## 会長エレクト研修セミナー(PETS) 報告

※役職名は開催日現在



### 国際ロータリー第2690地区

#### 会長エレクト研修セミナー(PETS)

- 日時：2014年3月15日(土) 11:15~16:20
- 会場：益田市市民学習センター
- 司会：次期地区幹事 高橋 和男  
登録・受付 10:15~
- 本会議  
点 鐘 11:15 ガバナーエレクト 松本 祐二

#### 開会の言葉

次期地区代表幹事 須山 鈴治

皆様、ようこそ第2690地区最果ての地、益田市へお越しくださいまして、ありがとうございました。ただ今より、2014-2015年度国際ロータリー第2690地区会長エレクト研修セミナーを開会いたします。宜しくお願いします。

国歌「君が代」斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 佐々井 智恵子

ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、

及び各年度代表幹事紹介 ガバナー 森本 信一

来賓、地区役員紹介 ガバナーエレクト 松本 祐二

次期地区研修リーダー、次期ガバナー補佐、

次期地区役員紹介 ガバナーエレクト 松本 祐二

#### ガバナー祝辞

ガバナー 森本 信一

本日より参加の会長エレクトの皆さん、2014-2015年度会長エレクト研修セミナーPETSが、このように益田の地で盛大に行われることに、心からお祝い申し上げます。

ご承知のように、PETSは次年度のクラブ会長の必須項目です。と同時に、会長への登竜門でもあります。クラブ会長の任期は、7月からですが、既に助走が始まっています。皆様方には、この助走期間に十分会長としての必要な事項を学んでいただき、また理解していただいて、新しい2014年度に臨んでいただきたいと思います。

次年度は、新進気鋭の松本ガバナーのもとで、「笑顔でSERVICE」というスローガンを掲げておられます。ロータリー活動が十分に各クラブで活発になるように、心から期待しています。

2日間にわたるPETSが、皆様の意義ある研修になることをこころから期待して、お祝いのご挨拶といたします。どうもありがとうございました。

セッション「1」	11:45	
「基調講演」		ガバナーエレクト 松本 祐二
昼食・休憩	12:25	
セッション「2」	13:30	
「クラブ会長のあり方」		次期地区研修リーダーチーム長 葛尾 信弘
「これからのロータリー活動について」		ガバナー 森本 信一
セッション「3」	13:50	
「ロータリー財団と未来の夢計画について」		次期地区ロータリー財団委員長 伊藤 文利
「米山記念奨学会について」		米山記念奨学会理事 葛尾 信弘
休憩	14:50	
特別講演	15:10	
「スカイツリーの秘密」		島根県芸術文化センター「グラントワ」センター長 澄川 喜一
第1日目閉会・点鐘	16:20	
		ガバナーエレクト 松本 祐二
お知らせ・会場移動		次期地区幹事 高橋 和男



- 日時：2014年3月16日(日) 9:00~12:00
- 会場：益田市市民学習センター
- 司会：次期地区幹事 高橋 和男  
受 付 8:30~
- 本会議  
点 鐘 9:00 ガバナーエレクト 松本 祐二

セッション「4」

「輝いているリーダーになりましょう！

～輝き続けるロータリアンになるために」

元国際ロータリー理事 渡辺 好政

お知らせ・会場移動 10:05

セッション「5」

「テーマ：RI会長賞とロータリーデーについて」

グループディスカッション

休憩・会場移動 11:05

グループディスカッション報告

11:15

次期ガバナー補佐 副リーダー

総括・講評 11:45

ガバナーエレクト 松本 祐二

昨日からPETS会長エレクト研修セミナーで、皆様方には次年度のクラブ会長としての研鑽に励んでいただきました。昨日は、私の国際協議会での経験、それから次年度に対する考え方、その他についてお話をさせていただきました。そして、その後クラブ会長のあり方について、葛尾次期地区研修リーダーチーム長の方から、さらに森本ガバナーから、これからのロータリー活動についてお話をいただきました。ロータリー財団と夢計画については、伊藤文利次期地区ロータリー財団委員長、そして米山記念奨学会については、葛尾米山記念奨学会理事からお話をいただきました。その後の特別講演では、澄川喜一センター長のお話の中で、「どんどんこれから、そしてますます」というような非常に心を打つお話をいただきました。そして一夜明けて本日は、渡辺元RI理事から「輝き続けるロータリアンになるために」ということで非常に素晴らしいお話をいただきました、私自身もまた身が引き締まる思いがしています。

そして、先程報告をいただいたグループディスカッションをしていただきました。その報告の中にありましたように、皆様には会長エレクトとして、自分のグループ内のクラブ会長エレクトとともに、様々なアイデアを出していただきました。

5人の次期ガバナー補佐の皆様から報告をいただいたこと、今回の研修で学んだことを自分のクラブに持ち帰り、次

年度に生かしてください。これを具現化することが、ロータリーが輝くことにつながります。そしてロータリーが輝くことは、自分が輝くだけではなく、クラブを輝かせ、そしてその光は地域を輝かせることになります。

昨今様々な事件が起きています。しかし私は、基本的に社会全体は公正で公平に進んでいると考えています。好意と友情を深めるといふ四つのテストの精神が社会に浸透していくために、社会全体がより良くなるために、ロータリーはどうするのか。もっとロータリーの哲学を深め、もっとロータリアンがよりロータリアンらしく行動することで、我々が輝くことができる、そして我々が輝くことで社会の中をもっと良くすることができる、地域社会や世界を良くするために必要なエネルギーとなる財団への寄付もまたお願いし続ける、こうした連鎖反応の中で、私たちが世界や地域に対して活動することが、この世の中をより良いものにつなげていくのです。このことをご理解いただいて、ロータリーの活動を益々盛んなものにしていきましょう。

皆さん方がロータリーに入会し、ここまで成長されて、クラブ会長を次年度は担う、これはやはり何かロータリーに魅力を感じておられるのです。その自分の気持ちとエネルギーを、もう一人、もう二人、と輪を広げていただくことで会員増強はできるだろうと思います。

また4月13日には益田で地区研修・協議会が開催されます。それまでの間にクラブの皆さん、ガバナー補佐の皆さんと十分に話をさせていただいて、次年度が輝ける1年になりますように、今後の皆様方の活動に期待して、私の総括・講評といたします。どうもありがとうございました。

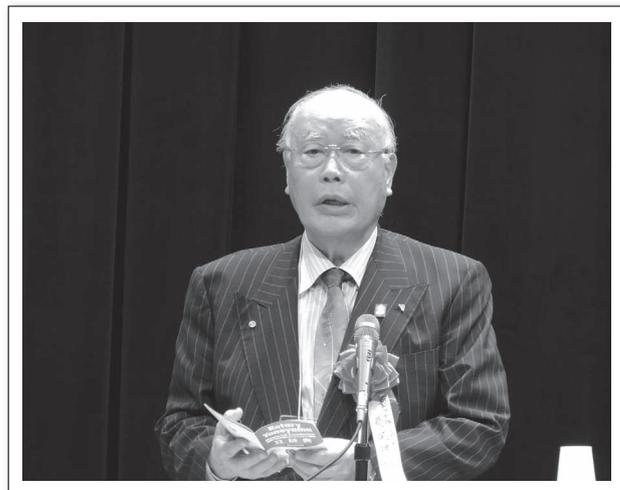
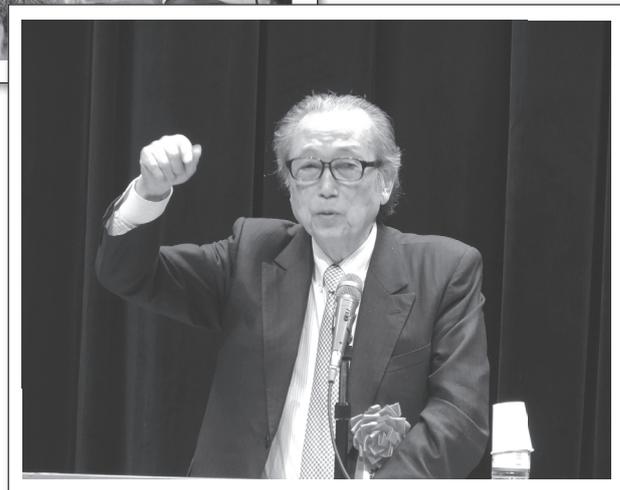
閉会の言葉

次期地区代表幹事 須山 鈴治

2日間にわたり、いろいろと勉強していただきました。私もこれから代表幹事を拜命する中で、いろいろと勉強させていただいているところです。まだまだ不勉強なところ、不行き届きな点があるかと思っています。皆様方にはご迷惑をおかけし、あるいはご心配をおかけするところがあるかと思いますが、どうか松本エレクトのガバナー年度が立派な輝く年になります様、皆様のご協力をお願いするとともに、さらに第2690地区が発展しますように、私も頑張りたいと思います。

2日間にわたる研修会、お疲れ様でした。以上で、国際ロータリー第2690地区会長エレクト研修セミナーを終了いたします。ありがとうございました。

点 鐘 ガバナーエレクト 松本 祐二  
お知らせ 11:55 次期地区幹事 高橋 和男  
昼 食 12:00



# 文庫通信 323号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 最近のロータリー情報

- ◎「当今世相四つのテスト」 佐藤千壽 徳山西 R.C. 1998 43p
- ◎「『職業奉仕を強調したロータリーの認知度を向上させる広報活動』プロジェクトについてのアンケート結果に対する考察」  
大之本精二 2013 6p (D.2710 地区活動報告書)
- ◎「職業奉仕とこれからの国際奉仕のあり方」  
横田盛廣 2014 5p (D.2600 下伊那グループIM&会員セミナー報告書)
- ◎「ロータリーは人づくり、自分づくり」 小林完治 2014 4p (D.2690 地区大会記念誌)
- ◎「人格と生産性」 大迫三郎 2014 1p (D.2730 月信)
- ◎「奉仕は他者のため?自分のため?」 本田博己 2014 3p (D.2840 月信)
- ◎「公共イメージと認知度の向上」 二神典子 2014 12p (D.2510 地区大会記録誌)
- ◎「なぜ、今、公共イメージの向上が必要なのか(フォーラム)」  
酒井正人 他 2014 20p (D.2510 地区大会記録誌)
- ◎「ロータリークラブの会長とはその1・2」 深川純一 伊丹 R.C. 2005 2p (純ちゃんのコーナー Part IV)
- ◎「ロータリークラブの幹事とはその1~4」 深川純一 伊丹 R.C. 2005 4p (純ちゃんのコーナー Part IV)

[上記申込先: ロータリー文庫]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階  
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 開館=午前10時~午後5時  
休館=土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



### ガバナー事務所

〒698-0033 島根県益田市元町 12-7 益田商工会議所 1F  
TEL 0856-25-7269 FAX 0856-25-7268  
E-mail: [office@rid2690.com](mailto:office@rid2690.com)  
HP: <http://www.rid2690.com>  
(ホームページよりPDFをダウンロードできます。)